

ITインフラがクラウド化されない3つの理由

ITインフラの最適解はクラウドか？
オンプレミスか？



はじめに

なぜITインフラのクラウド化はハードルが高いのか

リモートワークが広がりを見せ、これを支える重要なリソースとして認識されているのが、クラウド・コンピューティングです。

このクラウドのうち、インターネット経由で様々なソフトウェアを利用できるSaaS (Software as a Service) を導入する企業は多い一方、仮想サーバーやネットワークなどのITインフラをインターネット経由で提供するIaaS (Infrastructure as a Service) になると、「なかなかクラウド化できない」「自社のシステムはクラウドでは無理だ」という声も聞かれます。

そこで、自社のITインフラの最適解を導き出すための3つのポイントと、スムーズにクラウド化するために情シス部門が取り組むべき要件を紹介します。

INDEX

はじめに	1	1. 独自性の高いシステムを活用しているか	11
なぜITインフラのクラウド化はハードルが高いのか		2. セキュリティレベルをどこまで求めるか	12
		3. 運用保守、管理しやすいのはどちらか	13
第1章 ITインフラがクラウド化されない3つの理由		第3章 ITインフラのクラウド化は絶対なのか？	
まったくクラウドサービスを活用していない企業は少数派	4	ITインフラをクラウド化すべき4つの理由	15
オンプレミスから脱却できない事情	5	1. 社内システムの棚卸し	16
1. 社内システムがサイロ化していて把握しきれれていない	6	2. 自社に必要な機能、サービスの洗い出し	17
2. どのクラウドサービスがいいか、判断できない	7	3. 社内人材で対応できるか見極める	18
3. クラウド化を進める「人材」がない	8	おわりに	19
第2章 オンプレミスから脱却するための3つの「見極め」ポイント		最適なITインフラ環境構築ならお任せください クラウド化を成功に導きます	
オンプレミスとクラウドの違いを正しく見極める	10	企業情報	